

料金別納郵便



# 明石朋実 陶展

## —青の魅力—

令和8年10月14日(水)~19日(月) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日19日は午後5時まで)

作家在廊日：会期中、全日在廊予定

**陶歴** 平成2年 愛知県名古屋市生まれ  
平成27年 愛知県立芸術大学 大学院博士前期課程 陶磁領域 修了  
平成29年 現代茶陶展 入選 (以後5回入選)  
平成30年 瀬戸染付工芸館 修了  
令和3年 笠間陶芸大賞展 審査員特別賞、日本伝統工芸展入選 (以後3回入選)  
菊池ピエンナーレ 入選、第52回東海伝統工芸展 日本工芸会賞  
令和6年 日本陶磁協会 現代陶芸奨励賞 九州・沖縄展 審査員特別賞/鈴田由紀夫 選  
現在、日本工芸会 正会員

まだまだ暑かった文月の一、赤色の飛行機で沖縄へ飛びました。青い空が眩い那覇空港でレンタカーを借り、東走45分、沖縄半島の南端にある明石朋実さんのご自宅兼工房に辿り着きました。彼女が満面の笑みで出迎えてくれ、新宿からの長旅による軽い腰痛も雲散霧消です...少し歩けば太平洋の海原が広がる素敵なご自宅で、美味しいお茶とお菓子を頂き、かわゆい愛犬と戯れながら、楽しい会話が花が咲きました。

明石さんは、名古屋に生まれ、愛知県立芸術大学の博士課程を修了されました。その後もまっすぐに陶芸の道を歩まれ、数々の公募展で入選や入賞を繰り返される様になり、新進気鋭の陶芸家として、将来が嘱望されている事は、衆目の一致する所でございます。その作品の中心は、「釉はじき染付」と銘打つ、白い磁器のボディに、青色の小さい菱形の連続模様が幾重にも幾重にも美しく施されたものです。私もこの茶碗を気に入り愛用していますが、まさに薄茶には好適で、控えめの主張と、さりとした品格ある佇まいが他の道具の邪魔をしません。

さて、弊廊で初となる待望の明石展 **青の魅力**。彼女の十八番である白のボディの「釉はじき染付」作品に加え、黒のボディに加飾が施された作品や、花柄の最新作など約150点の染付作品を発表します。秋も深まる一日、どうぞご清覧を頂ければ幸いです。さあ今夜は、沖縄の青い空と明石作品を愛で、冷たく冷やしたオリオンビールでも頂く事に致しましょうか。店主 安田尚史

柿付ギャラリー  
KAKIDEN GALLERY

公式Instagram



160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階  
03-3352-5118 gallery@kakiden.com



